

バストス週報

第二百八号
昭和廿九年
三月廿八日
発行

DIRECTOR
KOITI MORI
発行所
RUA PRES.
VARGAS 188
REDATOR
SHION ODA
C. P 112
BASTOS
誌代
一年 60\$00
外部 70\$00

アリアンサ 移住地視察記 (一)
チエテ

バストス産組の肝入りである三月十五日より十八日迄、農事視察旅行を行ひ、参加者は四組合より、色とりどり、団長本田正雄君といふ、今迄に一寸例のない陣容であった。以下旅行記はカスカツタ辺高橋久雄氏(ジュエケリ所属員)の筆に成るもので、一般バストス人とつて大きな警告となり得よう。御一読を願ひます。(係)

高橋久雄

三月十五日午前七時半、バストス産組主催の農事視察旅行一行廿一名カミニオンで出発。アママンチ十市を経由して、ノロ線バルパライマ市に着いたのが正午。アラリアンサ移住地の巻

三月十五日午前七時半、バストス産組主催の農事視察旅行一行廿一名カミニオンで出発。アママンチ十市を経由して、ノロ線バルパライマ市に着いたのが正午。アラリアンサ移住地の巻
一時半程のこころを評出し、予場の本農場に向つた。場長の才場氏、総支配人沢村氏の案内を受け、不在のため、バタ場内隈なく見学することが出来た。バタ養鶏の実際、微生物醗酵飼料の操作、等実地について懇切に指導され且つ将来の有望性に就て話々と説き進められた。暮色迫るまで三時間半、沢村氏に追まると、同いて飽く処を知らず、緊張裡に全く時の過ぐるのを忘れてしまつた。
夕食を告ぐるピツタの頼りせ、場員と共に共同大食堂で馳走になつたのち、バタ畑を見学し、再び食堂に向ひ、某合、バタ農場各社を回んで座談会を開いた。話が弾んで午前一時になつて、も盡くる処を知らず、重要な部分を箇條書に畧記して参考とする。
(一) 収容羽数を厳守すること、一平方米に標準二、五羽、最高三羽と超えぬこと。
(二) 蛋白質含量を一羽一日四匁(一五匁)と必ず食下吸収さす可く、一日の食下量の半分に含有させ、配合の規準を定める事。
(三) 全飼料の価格を少くとも、鶏卵売上代金の三分の一以下に工夫する事。

Alfaiatario Imperial
丸十洋服店
丸十洋服店



爽やかなスタイルは

DE BULHA MILHO
三日月脱穀
山内武彦

ミ、リヨ脱穀をさるときは、私共に御用命下さい。
精確確實なデスリヤドールを以て、短時間仕上げ致します。
サツコ御用の方は遠慮なく申附下さい。何百枚でも御用立います。
運搬も御指定の通り致します。
マ、スルテテ街三七五、ロドビヤリア前

PROCURA-SE ARRENDATAR IO
借地人を求む
好條件にアレンタタリオ希望者を募つて居ります。
資金希望者にはテヌコント、アラジレイラ銀行よりホリホセを受けられます。
場所
ウパンより十四キロ米の地点、ハラガス街道東側
面積
六十アルケレス、本年茂株のテラウイバ他に古山も数枚あり
地味
頗る肥沃にして萬作に適す、附近では棉及雑作をします、何れも豊作。
左記へ御問合せ下さい
アテナル、テ、バロス街
梶田商店内
黒川

(四) 一日の食下量を一羽一四〇を以上た
 ること
 (五) 四塩化炭素を以てニヶ月に一回強制
 飲下、蛔虫駆除を勵行すること。
 以上少く抽象的判明を欠くようであ
 るが、詳細は筆者へ御尋ね下さい。
 規準となる飼料配合のパーセントレ
 ーを示すと

バタタタ生諸混合飼料の乾半量	一三%
バタタタ蔓、右同	五五%
糠餌としてミリーヨ粒	一八五%
骨白炭	一八%
麩	四五%
計	一〇〇%

其夜は合同宿舎に一泊。横になつても
 尚批判の談が続き、曉方近くトロトロとま
 どろんで、第二日三月十六日を迎へた。
 早晚全員力を入り、馳走になつてからバタ
 リ、鶏舎の点検及びスバルタ青雞の實際
 を見学したが得る処多大であつた。

チエテの巻

午前八時予場農場を退出、第二アリア
 ンサを經由してチエテ橋(東洋橋)を九
 時通過。橋畔に約三十分休憩して我等氏
 族の誇なる偉大な記念物を觀賞してやが
 てチエテ産組本部に到着した。
 本部新館は五月二十七日落成式をし
 たばかり。事務所と購買部と賣場を取っ
 て揺ぎなき堅実さが先づ印象にのこる。
 鈴木主事の挨拶があり、視察行程の打合
 があつて、吉田氏に案内されバルジヨン
 (湿地帯) 米作地を見学することとなつ
 た。

米作機械化の偉力

途中巨大な米收穫機が活動中で、早速
 之に登乗して一巡する。この機械の示す
 能力の偉大さ、眼のあたり見て機械化な
 る故と痛感した。一時間の能率二十八俵
 一日十時間活動すれば二百八十俵の精選
 された籾の俵が十俵位のモンテになつて
 絞ヶ所にも積まれて行くのである。
 一台の價格四百五十コントス。現に四
 台の收穫機が活動しているとの事である。
 ペレイラバレット本(チエテ)から九料の地
 点、チエテ河の沿岸に一千四百域を産組
 で購入し、十六名の実行組合を組織して各
 自に之を分譲したものである。

六十域、一登千里平坦な黒土。チエテ河
 濁水の沈殿した次いで、乾燥期に焼却
 すべて機械化した次いで、乾燥期に焼却
 われ、の頭上を遠かに越える草丈に
 たわわに穂る稲穂の金波を望見した時、
 これでは今に米があまつて来るぞと一寸
 錯覚に襲はれる程であつた。
 この外に個人所有で三百域のバルジヨ
 ンを持ち、米作専同で、本年度の收穫予想二

千二百俵。唯今收穫の真最中など、米穀
 のよい話もあり、米作の製作として小麦
 の作付を農務局後援で大々的に実施する
 話の説明等があつた。
 從ての事業に産組が中心となり、統一さ
 れた機械の偉大さに、羨望を禁じ得ず、バル
 ジヨンを退去。
 大豆畑とムクナシの輪作
 午後四時半、産組理事長山本氏の大
 畑を見学した。コヤラソンで十アルケ
 ル、油大豆の豊作振り、アルケル当り八
 十俵予想との事。十数種類別の耕作など
 の説明があつた。

午後五時篤農家石川氏の棉作地を見に
 行く。城当り四三〇アロ、バは確實であ
 ると自信を以て説明されたが、毎年自家労
 力のみに十域を作りムクナシを輪作して
 休耕地帯を交互に使用する機械化農であ
 る。地味は赤褐色のテラミスタで平坦
 地。先づ地の利を占めていた事が判る。
 僅かな休憩時間を割いて村井茂代氏
 宅を訪問する。新館には壯麗極まる日本
 家屋があり、魚はホ驚きの目を見つけた。
 村井氏はバストス絹織物の育ての親であ
 るがチエテに転任後も製糸工場経営に専
 念せられ、又一方佛心極めて厚く、同地
 特異の存在として重きをなすと聞く。

身体縛の如く疲る

夕暗迫り養鶏地帯、養蚕地帯見学の予
 定であつたが、二日に亘る強行軍に身体縛
 の如く疲れコチに硬くなる。農界の
 探求にも時に一掬の清涼剤がほしくなり、
 誰の發言とも知れず、チエテより一時間
 半の行程にあるチエテの觀瀑の議が起り
 多数決でさめられました。多数決とあれ
 は本団团长も抗しがたく、見のがれず
 文化遺跡ドンペードロIIの荒城の月觀賞
 とチエテ觀瀑を決定してしまつた。
 (以下次号へ)

御礼

一全五百 針也
 尊父赤市様御蔭儀に際し香典返しに代
 りに特に御寄附頂きました。
 深謝いたします。

バストス少年野球後援會

一全五百クルゼーロ也
 右は七父赤市様の供養の爲めに、と病院
 費用の一助として御寄附下さいまして有
 難く御礼申上げます

連合日本人會

一全五百 三野善一
 森田御家族中一統様

153	152	151	150	149	148	147	146	145	144	143	142	141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109		
紫田	宮村	渡辺	杉本	杉本	後藤	後藤	坂井	佐伯	奥山	子割	河内	谷部	藤川	藤川	長瀬	橋本	星島	高谷	河村	吉田	浮田	田中	前田	萩原	山根	木内	森重	岡村	戸田	湯井	上島	木村	戸田	吉田	早川	藤崎	石次	木五	大崎	宇都	長谷	齊藤	丸山			
トウ	エキ	バウ	久	一	利	一	宏	春	憲	憲	憲	秀	一	一	義	義	又	一	武	三	爾	春	人	宅	三	内	重	林	東	浅	忍	久	房	川	長	信	五	宮	川	義	秀					
工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(一)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

合計 三三、一四〇、〇〇〇ルビロス也

昨年ジナジオ内、便所増設費として、同校
父兄会にて承認され、ました金額、五十コ
ト金額の集金を致したと存じまして、
右報告が今日迄延引されました、平に御諒
承願申し上げます、
中学校長も、全部の方が約束された事であ
るから、出来る限り、秋納して戴く様と申し
て居られます、何卒、まだ、集金をなさる方も
守之、下さる様直ねて、御願申し上げます、

父兄各位殿
サンビヨロ中学校父兄会、計 上 西
一九五四年三月廿二日

エバ農場に限りません



PINTO GRANJA-YUBA

。エバのピントの飼育者は口を揃えていいです
1. 丈夫でよく育つ
2. 母鶏による
3. やすが伝統と誇りだけあって、すばらしい
バストス養鶏は先づよいピントを入れることが改良の第一歩であります
御申上のみ日左記
バストス移住地 代理人
パウリスラ様一併 上 西 恭 治
週報掲載のアリアンサ訪問記を
ゆらん下さい

御 礼

過般上野袖子女史、再度当バストスに御来植なされた事は、貴殿を始り佐賀果人御一同様方の御酌慮によるものと、各々上野氏の親戚につながる者の深く感謝する処で御座います。一々お禮御礼言上申上り可き処、不先礼紙上を以て御挨拶申上ります。
五月十日 クロリア正区
石田光助 敬白

本林 辰市様
佐賀果人御一同様

御 礼

一金五百針也
本林市氏は久しくバストスで鉄工所を営まれてきたが、六十七歳で遂に長逝されました。今回亡父御横長の意を以て御遺族方より、当会へ御寄進下さいました。茲に厚く御礼申上ります。
バストス 佛 教 會

本林 御遺族
御一同様

鳥取県知事

外遊が榮る

昨年十月七八日鳥取県知事西尾愛治氏が当バストスに杖を引かれ、鳥取県人十数人で大歓迎をしたものであった。週報誌もよい材料と、186から数字に買つて氏の動靜を記述したものである。それはそれでいいのだが、週刊朝日(一月十七日号)のニュースストリートをみると西尾知事が、県の労働組合協議会からリコールされようという日本でも珍らしい事件が起つて居る相だ。和重様が果敢から排外を喰ふとは、日本の世間もいさゝか変わったと思はる。その為、追記を借用することにした。(徳)リコール創(MacCall)罷免の選別。選挙に当選して公職にある者が、その後適当でないと思はれた場合、選挙民が罷免解職を要求することができる制度。

三段跳びの公選知事

昭和廿二年四月、初の首長選挙が当選農政課長だった西尾愛治氏は、よしと立候補しようとして、日農労働組合など、民主団体の推薦を受けて、古豪二人を相手に敢闘、更なる新系知事として見事金の射とめた。愛治氏が知事になった。エライ男だ。旧友たちから賞讃の的になった。田中北海道知事と西尾知事は三段跳びの知事になったのだから、たいしたもんなんだ。と云うは、やられたのも無理はない。三段跳びの知事政策は、三セムと温泉、大山、借債、果下に多し。温泉をウツと宣傳、県外からの観光客を誘致、大山国立公園を中心に関接する。それから日本一貪乏だといふ本県だから、ウツと借債をしよう、と云うのが三セム政策は一向に実績があがらない。そこで二十五五年十二月からつて学生時代にスイスドイツなどに留学して、いたので外遊を思ひ立ち、片山哲氏にまねて、青い島を求め、約三ヵ月間外遊、二十六年四月再び立候補して再選された。そして今度のスワリガンは、FIE政策だった。Fは林業、Iは工業、Eは電気。これで過去四年の失敗をとり返そう。そして果敢にラスするんだと張切った。最近に到つて知事のFIE政策は実を結ぶ。播磨電所の建設、小倉電所も二十九年度から着工、日パ米子工場の誘致などに成功した矢先、今度のリコール騒ぎとなつたものだ。西尾知事は中々の酒豪で、漫談も中々上手。それにエモエたッぷり話をする。これがまた人を食つた態度で面白い。

死亡通知 並に 會葬御礼

夫、孫市儀病氣療養中の処、薬石効無く去る三月十五日午前九時永眠致しました。此儀生前御厚誼を頂戴しました方々に御報らせ申上申す。翌十六日午後二時自宅出棺バストス墓地に葬儀仕りました節は、お着い中を遠路慈々御會葬被下。且つ御町重なる香帯料、花輪等御惠賜賜はり誠に難有く御礼申上申す。連而申次区の申合せにより、會葬御禮札に香奠返し等を致しませぬ。甚だ失礼では御座いますか、紙上を以て是に謹んで御礼申上申す。一九五四年三月十八日

- 喪主 木林 田 け 人
- 長男 住 子 奄
- 妻 住 子
- 次男 三重 昇
- 妻 三 男
- 三男 三 男
- 親戚 檜 垣 肇
- 上平次郎 衛 門
- 木 村 幸 福
- 田 村 安 治
- 武 田 安 治
- 山 村 吉 衛 門
- 荒 井 深 美
- 池 田 正 雄

各位

原田龜雄 近く來植?

日支事件が始まった頃後軍し、その従軍談を以て十数年バストスにも立寄り回シネマ館で講演されたことのある熊本原田重雄氏、今度日伯親善協会理事の肩書きで再度伯、各地を巡遊中であるが、本月末頃、当地に杖を伸はれたいとの通信が来て居る由、戦後日本の事情講演として、随一のものと評判が高い。

西尾知事を評して、反西尾の人たちは「馬
車に狐を乗せたような男だ。知事として
のマジメさがない」といい、西尾派の人た
ちは「あれは坊ちゃんで、育ちがいいから人間
が正直だ」と反駁する。

県會の同意なしで外遊

と云ふのが今度のリコールは、外遊問題
がきっかけとなった。外遊とは去年の六月、
ウインで開かれた国際地方自治會議に全
國知事會の代表に選ばれ、五月県會に、全
席したいから議長の同意を求めたいと、
當時の木島議長を通じて申し入れた。こ
れに對して議會は各派代表者會を開いて
相談したが、前回の外遊の結果、何ら実
質的に果敢の上には、ラズにならなかつた。
これに、今、鳥取火災の復興、これに伴
い、訴訟問題など、重要な問題が山積して
いると、思ひ止まるよう勧告した。
知事は、すむに外遊の手続きを終つてい
るからと中止しようとし、ないので、議
會では本會議で「西尾知事外遊反対決議
案」を賛成十八反対十で可決した（現在定
数九人で十一人は退席した）
西尾知事は、果敢の反対決議などよそに
五月三十日鳥取駅を多敷の市民に送られ
て出發した。土着前に彼は「果敢は私の
外遊反対を決議したが、全會一致でなく、
果敢代表の代表的決議とも思はない。そ
れに裏の力カククリまで皆知つてい
るので、何とも思つていない。
労働団体からは世論がやまといか
のた方がいといつて、こられたが、世論は
新聞やラジオが作るものだから、新聞に
止めたい」と中々の熱氣を吐いた。
と云ふのがウインの會議を終つた西尾
知事は、スイス、東西ドイツ、メンマ、クハラ
シルに足跡をのこし、初め三月の予定が
二月も延びて、やつと五月ふりに十月二十
七日、パンテンリカン機で羽田空港に帰つ
てきた。

一方、知事帰還というので、果敢會は十
一月二日果敢を開き、決議を無視した点
を追究して不信をしようという動きが、
果敢同志會（所屬議員十人）にあつたので各
新聞、通信社は東京に連絡して、西尾知事
の談話を取つたものだ。これが羽田暴言
といつて、また騒がれた。これになつた。
各社の記者は飛行機から降りた西尾知
事に、果敢はあなたを不信しようといつ
ている。労働団体はリコールしようとい
て、いさかやう考へていますか」と質問
をあびせかけた。（以下次号）

何にも知らない在伯島取果人等日
吾等の良三千石未とばかり大いに
歓迎したが、外遊の裏には、二人をカ
ラクリがあつた。西尾知事は、リコー
ルに對して、ごん平手を打つたであらうか

カニ三オシ

賣ります

フオールド四六年限型（ツッポラ六吸込）

詳細は市目にか、つた上で。

御希望の方は左記へ御訪ね下さい。

アテマルネバロス街

梶田商店内

黒川

中央に女子青年団

設立のうごき

戦時中、やむを得ない事情の爲の解散
した中央女子青年団は、その後、二回再
組織の話もあつたようであるが、時機が
到らなかつたものか、四周のセツンでは
それ、活動を始めたいのに刺戟され、も
う時機尚早でもあるまいと、今度バスター
入會が、慶後役で所り娘さん達に呼びかけ
る事になつた。
十人でも二十人でもよい、と、かく結成す
る事。まじめな、よい會である、招かすと
も會員は増えてゆく。
今度は大丈夫ままとまりましよう。

法令によつて

植林奨励

自分の土地に一畝はユーカーフトを植
えぬはなりぬ相な、二年目には三畝、三
年目には三畝、この調子でゆくと十年目
には十畝に皆植林することになるが、それ
では桑やミズリヨは、どうなりましよう
と、先きの事で頭をいためて、いる人も、あ
らうといふもの。
と云ふので、フク松バスター乗務所支配人
谷口さん、は、さすが目先がよく利イも
だ、イアクリ街道バスター入口は、昨年中
二十畝域に全部ユーカーフトを植林済。なり
ほ、こら、でも、居られまいと、ユーカーフト
一組でもイアクリ街道沿いに一戸一畝、グ
エカの植林を始め、ることになつたとか
イアクリ街道八キロの両側が、ウツソウ
たるユカの大森林となるのも、近き将来に
ありと、ユーカーフト局長霜出氏は、目今、二
畝の標に大長び、だがね、ユーカーフト一
植えて之を守るとなると、ちつとヤソツ
との、ヘソクリな人で、どうなるもんか
い、一家忽ち二十コントいるので、せと
おと、かされ、目をむいて、いる人もあるとか

麻州寸景

北 風

(一)

麻州のカンホクランテの街とパラグアイ
 國境の街ポントポランの間にマラカジュ
 と云う小駅がある。私と上ヶ島君がドラ
 ードへ行くべくその駅へ下りたのは先月
 始めの日曜、午後三時頃であった。汽車
 と連絡するドラード行きバスが来てい
 るというので駅を出て見ると、なる程シ
 ヤッも付けて居ないボロバスが一台あつ
 た。聞いて見るとドラードへ行くといふ
 早速乗り込まうとする。金を先に私
 へと云う。先に私と後で掛つても同
 じ事だが、こんな田舎所で前掛ひなんて
 聞いた事がない。こいつ余程マツカリ者
 だねと私等は日本語で話し乍ら掛つて来
 込んだ。そして何時發つのかと伺うと夜
 の九時か十時でないかと云ふ。と云う
 私等は思はずホルケリと大声で聞きか
 へす。今私らの乗つて来た汽車は今日ホ
 ンタホランに大きなバスがあるのだと
 大臨時列車なのであつた。それとは知ら
 ず私等は飛行機で来るつもりであつたが
 その日は丁度欠航の日であつた。汽車が
 出るからというので何氣なしに乗つて来
 たのである。定期の汽車は七八時間遅れ
 てくるので、それが着く迄待たねばならぬ
 というのである。おまけに今日は雨が降
 り相だから大雨だつたら今夜はここで泊
 つて明日の朝出發するといふ。私等と一
 緒に下りた五六人の外人達も怒り出して
 そんなに待たされてはかたわると、色々交
 渉して居たが、とうとう七時の汽車の着く
 迄待たなければならぬ事になつた。
 尋ねて見たが此の町にはアルケールのカ
 ミニオンヤトモトモトは一台もないとの事
 であつた。ガツカリしていろとそこへパ
 ーティボイのようなポルリアの様な自動
 車が来たので、かき合ふと行つてもよいと
 云う。が、かしこ五人以上は乗れないし、バ
 スは一人六のクルゼイロだがこれは一人二
 百五十名ゼイロ、その上道も悪いし、雨も
 降り相だし、自動車もボロだから今日中
 にはランケード、ドラードスへ着く保証
 せぬといふので止す事にした。これは後
 で行つて見るとわかつた事だが、あの道で
 はなる程ランケードと云ふのはあつた
 道だつた。と云ふ。それ程想像にあまる悪
 七八時間あるので、少し向ふにホテルがあ
 るから、あそこで休んで居たらと言つて
 バスの運転手が案内して呉れた。(つづく)

聯合日本人會報



三月廿二日佐野食堂に於て
 バストス聯合日本人會代議員會及
 理事會開值。左の事項協議を爲した。

一 會計報告一九五三年會計報告承認
 を得、之を印刷に附し各區長の手に依
 って近く各戸に配布すること。

二 入植祭、玉子祭について
 A 期日七月九、十、十一日とし、特に十一
 日は政府指定の玉子祭とする。

B 女王権立の案
 一 昨年の様に各區一名の候補を立
 て、ボックは祭日期間中売る案
 二 産業組合及団体單位を立候補させ
 投票を売らる案

八 中央区乃至右区より推薦候補を
 立、自由投票券を売らる案
 九 其他各區にて名案を研究する案

玉子祭の主催は公に市役所を中心と
 した委員制とし、バストス聯合日本人會
 及聯合青年團が實際の仕事をすること。

三 バストス五五年史刊行について
 一 五五年史編纂の意圖は賛成であるが
 其設置に就ては各區の意見をまとめて
 次回代議員會で決定すること。

四 セラリア統地処分と旧自治會員債整理
 案について
 一 自治會時代より受継いだセラリア債
 地一アルケルは之を処分し、回會計不
 足分を補ひ、残金は病院に繰入る事
 二 処分方法は理事會で決議し、週報紙上
 に發表する。従つて希望者は週報紙上
 に發表を注意せよ。

五 団体登録について
 一 聯合日本人會の登録については理
 事會に一任する。

六 日本語教育について
 一 バストスに於ける日本語教育は最
 近低下の一路を辿つてゐる。之に
 ついて対策を採る可しとの意見あり。
 二 各區に於て之を研究し、又理
 事會で之が対策を練ることとす
 合す。

三 リヨ・アモンドキ、棉花等
 農産物 買入れます
 アポマルデ、バロス街角

佐藤 商會
 佐藤 勇

ツツクの方に御願ひ
 一九五三年度及それ以前
 下の果實に参りません故
 週報社

ユーカーリツツ...
 このとこユーカーリ問題はテンヤワン
 やであるが、真相はどういふことになつ
 て居るだらうか。一日スラ格事務所と
 河して説明をきくと
 去る一月二十日付発布された原始林保
 護、植林奨励の爲めに農村地租増徴に
 関する法令である、との事
 一九五四年一月二十日法令第六二六
 号と一月廿一日州官報に載つてゐる由、
 以下その譯文を御目にかけらる。

農村地租増徴

一 聖州政府は一九五四年一月二十日法
 律第六二六号に依り一九五五年一月一
 日以後五年毎に左の割合で農村地租を
 増徴する事を定めた(同法令第一條)

第一期	自一九五五年	五年間	五。%
第二期	自一九六〇年	五年間	六。%
第三期	自一九六五年	五年間	七。%
第四期	自一九七〇年	五年間	八。%
第五期	自一九七五年	五年間	九。%
第六期	自一九八〇年	五年間	一〇。%

第六期(二十五年さきには)地租は現在の
 倍額になるわけである。

二 但し所有地上の自然林又は現在植林
 面積を次の事項を立証する時は前記の
 増徴を免除される(第一條)
 一 所有地が自然林又は既に育成され
 又は育成中の植林で自一九五五年至一
 九五九年の五年間には全面積の一。%
 以上を占めてゐる事。
 自一九六〇年、至一九六四年の五年間に
 は全面積の二。%以上を占めること。
 以後は全面積の三。%以上を占める事。
 三 州の森林局から当該森林区長地方駐
 在 農業技師又は郡種苗場等を介し
 て所有地の植林又は再植林の爲に必要な
 苗や種子の配給を受けた事はなかつた事。
 四 所有地の地質が合理使用の技術的見地
 からして(1)項のような割合の植林又は
 再植林の出来難いものである事。

三 五十エクタール以下以下の小面積農村
 地上で前記(1)項の森林面積の計算には
 地上の総ての種類の森林(自然林にし
 る植林にして)の外に果樹(果樹園)が
 觀賞用のものであるが或は工業用の

ものであろうが木幹性の植物の植つて
 いる部分と皆合算する事ができる(第一
 三條)
 四 面積十エクタール以下以下の小農村地
 区その面積の五分の一は何等かの種類
 の樹木が植つて居ると地租の増徴は更
 除される。その場合の植付面積といふ
 のは列子して植えたものでも樹間に同
 隔を保つたもの或は果樹園として仕立
 てたものでも差支えない(第四條)

五 州の森林局では一九三九年九月廿七
 日付連邦法律第六三一号第七條の規
 定に抵触しないようにして地方の状況
 地質や経営上最も適當とする種類の樹
 種を指示する事になつてゐる(第五條)
 六 州政府は毎年の予算で普通の費用の
 外に前記(一)の地租増徴に依り収納した
 金額を森林保護奨励及調査の費用に特
 に農村地所有者に無料配給をする爲め
 の種子及苗木の生産に當てる費用及農
 村地所有者等が植林又は再植する爲め
 の融資貸付費として項目を構成する(第
 六條)

七 尚前記の法律を施行する爲めに細則
 を九月十日間に制定する事になつてゐる
 (第七條)
 八 現行法に依れば聖州へ農村地租は
 地上の工作物等の價格を除いた土地の
 價額の二。五%で最低限度(税額)は一。
 〇%以上を占めてゐる。(税法第六三編第
 二條及軍項)

九 内外人の農業者で自分の土地で給料
 を払つての雇人は無く所有者自身が家
 族と共に耕作に従事する時は入地后三
 年向その土地についてその地租を免除さ
 れる。もしその土地の價格が二千ドル
 以上を越えないものであれば三年に
 限られず更迭される事が出来る。(税法
 第六三編第三條)及同條第二項)

聖州を考へて
 ルウカスノケトラ ガルセス
 テオドロ カクセン バルホーサ
 レナフト フスタ リーマ

前記の四、五、七條達が州令、八、九は参考
 本文の譯者はスラ格の杉山英雄譯者
 である。

ユーカーリツツ

鶏舎 養蚕室等の建築に、もつて二〇〇の
 恰よい太さ、まっすぐなユーカーリスト

御注文下さい。ユーカーリストのレンア
 ユーカーリストの木炭
 アマール街角 佐藤商店にて
 佐藤利右エ門

本欄提供者

SPONSOR

バストス商業事務所

會社

道頭 菊とか鶏卵、野菜などをシ
ツチから市街地に搬出する途中、石
スカルに捉へられ、ノックテ、ポドトル
を持って居ない為め、油を搾られた
り、ムルタを取られたりした人があり
ました。

之れは、抜き賣り、抜き買ひを防止する
為めに發布された法令で既に去年か
ら実施されて居たのを、道頭取締りが
やがてましくなつたものです。
ブラ製茶又は各産運テポジットでは
それ／＼適法のノックテを伴つて生産者
に渡して居られますが、まだ知らず
に居る人もあることと思ひ左に此の
法令をわかりやすく解説致します。

ノックテ、デ、ポドトル (生産者ノック)

とは どういふものか
法令ニニコニニ号第百十六條及
百十七條に基き、
發令日、一九五三年一月廿一日

農業者(生産者)及此の生産物を運搬する
業者に告ぐ

生産者(農業者)は自己の生産物を出荷す
る場合必ず之れに相当する特別ノック
(ノックテ、ポドトル)を二枚複写作成
し、之れを運搬する業者、之れを所持し
なければならぬ
○此のノックテに記入すべき事項

- 一 出荷年月日
- 二 送り先(商店或は組合)及所在地
- 三 生産者名(送り主)及所在地
- 四 出荷品名、数量、単価、及合計金額
(価格不明の場合、当日の市場価を記す)
- 五 販賣方法(委託、返却、賣却、等)
- 六 運搬者氏名と住所

○ノックテの扱ひ方
フリメイラ、ウイア(一枚目)は出荷物と共に
買取人(送り先)に渡すこと。
セカンダ、ウイアは、運搬人によつてノック
記載の日より十五日以内、所轄税務
所に提出する。但し之れは税務監督
官に摘発されなかつた場合である。

○商店で買物しても必ずノックテがある。
断からの帰途、買物をいって持帰る時、之
の品物に対する商店からのノックテが必要す。
○運搬業者はムンサを除く一切の積

荷には、之れに相当するノックテ(書表)を所
持しなければならぬ。而して此のノックテ
は品物と共に荷受人に渡し、亦二通付税
務所に提出するの義務あること、前述の
通りである。

違反するとムルタ
以上の事項に違反する場合、監督によ
り、其の積荷一切を差押えられ、之れを
販賣するには、荷物に相当する金額を税
務所に積立て留めて自由となるが、規
則違反に対する罰金は免れない。

○ 商店に対する注意
商人は生産者より受取ったノックテ、ポド
トル、オ一通により之れをノックテ、デ
コンポラに記載する。
○ノックテ、デ、コンポラのオ一通を、荷主に渡
し、亦二通を税務署に提出する義務あ
ること生産者と同様である。之れは十
日以上遅れてはならない。
○若し不注意にて、ノックテ、デ、コンポラに記
入することをおぼた場合、監督官の調
査により処罰を受く。
○尚此のノックテ、コンポラは生産者より購
入する總々の生産物に適用されるもの
である。

以上の事項は一般のもの、此の外、
送り先不明、行商、其他細目等あります
が煩雜なる故、後日項を改めて御知ら
せします
農家は是非なくてはならぬ
ノックテ、デ、ポドトル
(生産者ノック)
判りやすくできたノックテを
希望者には実費でお頒ち致します

バストス 商業會計事務所

バストス 野球部 報

四 移住地 對抗 野球 大會

アリアンサに於て
期三月 26 27 28 三日間
バストス代表チーム(青年チーム)
(ジュニアチーム)
出發 三月廿五日 午前五時

四月四日(日曜日) マリリアに於て
ジガンテ(聖市) マリリア、バストス
のリーグ戦
翌日出發 四月三日 午後三時

右二回共カミニオン御提供下さる 谷口章様
に一同より厚く御礼申上げます。(世話人)

スーパアメリカ

保険會社

暗夜の山路に一点の燈火を見つけた時
深夜の航海に燈台の光を認めたととき

その光は、この上もなくありがたいものです

世の中が暗黒一色に塗りつぶされたり、どんなものでしょう、
不自由を通り越して、不愉快で、苦痛で、……
あ、考へたばかりでムッとします。

私達の実生活、実社会に於て、ニラした場面に
ぶつからないでしようか

頼みの綱の主人に先立たれる。

粒々辛苦、汗の結晶たる財宝を一握の灰燼に帰してしまふ。
盗難に會つてしまった……救へよと頼りがありません

此の時に燈を、ともしてくれるのが **保。險。** であります

この様な見地から、當事務所では、これまで南米一の機構を誇る
スーパアメリカ 保險会社の火災・傷害(個人・商工業
使用人)輸送・自動車・等の保險を扱つてまいりましたが、
尚一層皆様の御便宜を計る為め、同会社の内職といわれる部門

生命保險

を取扱ふことになりました。

火災・傷害などの保險は万一に備える保險であります
生命保險は、僅かな掛金で将来が保証され、更に一種の
貯金であるとも考へられます。

其の他の業務

加入者で中止して居たが、又払込を続行したいと思ふ人
物價暴騰につき保險金を増したいと思ふ人
子弟の奨學資金を造りたい人

保險に関する一切の御相談・御便宜をお計りいたします。

セツカ期に入りますと毎年多数の蚕室、鶏舎を鳥有に帰します。

僅かな掛金で此の心配を一掃いたしましょう

保險の事なり何でも御相談に忍びますからどうぞ、御いで下さい。
明日の心配を無くして朗らかに暮らしましょう。

スーパアメリカ代理店

C.P. 35 C.P. 66

バスノス商業會計事務所

SUL AMERICA

COMPANHIA NACIONAL de SEGUROS de VIDA